



# けやき

明郷小学校だより

2022年3月4日

学校の教育目標 みとめあい まなびあい たくましく活動する 明郷の子  
～ 進んでつながる子 進んで話し合い発表する子 進んでやりぬく子 ～



子どもたち作成ののぼり旗と校舎

## 大西達也さん個展「ここから はじめた これからはじまる」

～障がいは、理解と支援のいる個性～

校長 梅田 貴昭



2月21日～3月5日に、ふれあい教室（アゴラルーム）で、個展を開催しています。6年生や職員により設置されたパネルには、ガラスモザイク、絵画、アイロンビーズなどの作品がたくさん展示されています。子どもたちは、「きれい」、「上手。私も作ってみたい」、「これ、全部一人でつくったの?」、「私これが好きだな」などと話しながらか見学していました。

2月25日に、昼の放送で、達也さんと母親から個展や作品について話をしてもらいました。自分から話すことのあまりない達也さんですが、一生懸命に子どもたちに話をしてくれました。きっと何度も練習をしたのだらうと思います。昼休みには、いずみ学級の子どもたちが校長室を訪れ、交流することもできました。

達也さんは、私が勤務した中学校で出会った生徒です。特別支援学級に在籍し、自分からほとんど話すことがありません。しかし、まわりの人の様子を笑顔で見ていることが印象的な生徒でした。そんな彼の才能が見いだされ伸びたのは、保護者や当時の担任の彼に対する理解と適切な支援があったからだと思います。できないことばかり見るのではなく、できることを認め、その良さを伸ばすようにしたいです。これは、障害の有無にかかわらず、どの子にも言えることだと思います。



## 贅沢な時間の使い方

岐阜県人権施策推進課冊子「ちょっといい話」から

市人権啓発センター職員の話に、次のような短い文がありましたので、紹介します。その場面を想像しながら読んでみてください。

### 私の時間 （高校生の作品から）

「手伝いましょうか。」「ありがとうございます。」視線の先には、先程足早に私の横を通りこしていった男性と妊婦さんの姿があった。「下まで運びますね。」と声をかけると男性は、妊婦さんが抱えていたスーツケースを軽々と持ち上げ、たった今、上りきったはずの歩道橋をかけ下りてきた。偶然その場に居合わせた私は、温かくて幸せな気持ちになっていた。誰かの為に時間を使うことは、贅沢で貴重な時間の使い方なのだと、私は改めて痛感した。

明郷小児童の中にも、やさしい心遣いや思い遣りのできる人がたくさんいます。その姿を見ると心があたたかくなり、勇気をもらいます。子どもたちには、まわりの人に対するあたたかなまなざし（見方）と、関わりのできる人に成長してほしいです。